

## きのこ施設栽培の技術開発研究会

- 1 日時：平成20年7月3日（木）～7月4日（金）
- 2 場所：栃木県那須郡那珂川町小口 南平台温泉ホテル  
栃木県那須郡那珂川町大山田下郷 （株）北研 きのこ生産事業部馬頭工場ほか
- 3 出席者：森林総合研究所、茨城県、群馬県、埼玉県、千葉県、神奈川県、新潟県、富山県、長野県、岐阜県、山梨県、静岡県、愛知県、栃木県（14機関、20名）

### 4 会議

#### (1) あいさつ

研究会会長 栃木県林業センター場長 片浦 康法  
独立行政法人 森林総合研究所 きのこ・微生物領域長 角田 光利

#### (2) 協議事項

##### ア 提案・要望事項について

- 5機関から6件の提案があり、討議と情報交換を行った。
- ・きのこ類の品種登録の費用対効果について（茨城県）
  - ・きのこバエの対処について（埼玉県）
  - ・竹材・竹粉を利用した食用きのこ栽培について（富山県）
  - ・研究会の活動について（岐阜県）
  - ・きのこの認証制度の導入状況について（愛知県）
  - ・ネズミに食害された菌床から発生した害菌について（愛知県）

##### イ 次期開催県等の選出

次期開催地を群馬県とすることとし、群馬県担当者からも内諾を得た。  
特産ニュースの今年度の担当は愛知県で、その次は埼玉県と決まった。

##### ウ 試験結果、事例報告などの情報交換について

- 各県が実施した研究課題の発表、およびそれに対する意見交換を行った。
- ・マツタケ菌根苗作出時における二酸化炭素濃度簡易測定法の開発（茨城県）
  - ・エノキタケ及びヒラタケの野生株栽培試験（群馬県）
  - ・栽培しやすく付加価値の高いきのこ品種の開発（埼玉県）
  - ・培地へのスギ木炭混入がシイタケ子実体へ及ぼす影響（千葉県）
  - ・ニオウシメジの子実体発生条件について（神奈川県）
  - ・エノキタケ「雪ぼうし2号」の乾燥オカラ添加効果（新潟県）
  - ・海洋深層水を利用したシイタケ菌床栽培（富山県）
  - ・里山を活用したきのこの栽培及び増殖システムの開発（長野県）
  - ・ハタケシメジ栽培における培地材料の影響（岐阜県）
  - ・低温処理、高温処理がシイタケ菌糸生長におよぼす影響（山梨県）
  - ・ヒラタケ及びシイタケ栽培における茶殻の利用（静岡県）
  - ・未利用植物性資材を用いたきのこ栽培（愛知県）
  - ・粘着トラップを利用した菌床シイタケ害虫防除試験（栃木県）

##### エ その他

農林水産研究高度化事業関連について、森林総合研究所馬場崎きのこ研究室長からの資料を基に情報交換を行った。

### 5 現地視察

(株)北研きのこ生産事業部馬頭工場、道の駅ばとう直売所を視察した。馬頭工場では、工場の生産状況、運営状況などの説明を受け、工場内で培地の生成からしいたけのパック詰めまで、菌床シイタケ生産状況を視察した。道の駅直売所では、きのこや山菜等の販売状況等について視察した。